

令和7年度 精明学園 地域連携推進会議（障害者支援施設）

日 時 令和 7年 11月 19日（水）

13:30～15:30

場 所 精明学園・会議室

1 園長挨拶（地域連携推進会議について）

2 構成員及び施設職員の紹介

3 議題（司会：赤羽）

(1) 施設の見学について 赤 羽

(2) 利用者の日常生活の様子について 山 崎

(3) 経営状況の報告について 宇佐見

(4) BCP(業務継続計画)の策定状況について 赤 羽

(5) 行事等のご案内について 宇佐見

(6) 虐待防止、事故、ヒヤリハット報告について 小林渡

(7) 苦情解決について 小林渡

4 意見交換

5 その他

6 議事の経過の要領

精明学園 園長 後藤 浩 から、開会の言葉があり地域連携推進員の紹介がありました。その後、地域連携推進員全員で精明学園の施設を見学しました。

精明学園生活介護課係長 山崎 葉子 から、ご利用者の日常生活の様子について説明がありました。

「浴室や脱衣場の床について、床が滑りやすく利用者や職員が転倒しやすいのではないのでしょうか。」とのご意見をいただきました。精明学園 園長 後藤 浩 から、「転倒のリスクが低い床への張替えをすべきではないかと、職員からも意見が出ています。しかし、滑るリスクが低い床は清掃がしづらく、管理が難しいです。転倒のリスクが低く、清掃しやすい施設整備を今後も検討していこうと考えております。」と回答しました。

「入所している利用者の健康診断結果について、家族への健診結果が共有されていないので、改善してほしい。」とのご意見をいただきました。精明学園入所支援課課長 赤羽 秀樹 から、「施設から健診結果をご家族へ郵送していますが、こちらの手違いで郵送ができていない場合があります。確認をして結果等を医務よりお知らせします。」と回答しました。

精明学園総務課副主任 宇佐見 雄輝 から経営状況の報告について説明があり「決算資料が丁寧に整備されていると感じました。」とのご意見をいただきました。

精明学園入所支援課課長 赤羽 秀樹 から、BCP（業務継続計画）策定状況について説明がありました。

「過去の経験から、ゾーニング、職員や物資の確保、情報共有の課題を洗い出して、BCPの更新がしっかり行えていると感じました。」とのご意見をいただきました。

精明学園総務課副主任 宇佐見 雄輝 から行事等のご案内について説明がありました。

「感染のリスクがあると思いますが、利用者のことを第一優先で行事を考えられていると感じました。」とのご意見をいただきました。

精明学園生活介護課係長 小林 渡 から虐待防止、事故、ヒヤリハット報告について説明がありました。

「入所されている利用者さんで、精神科の薬を内服する方が多いと思います。内服が行えているか、しっかり確認をしてください。」とのご意見がありました。

精明学園生活介護課係長 小林 渡 から苦情解決について説明がありました。
「定期的にしっかり時間を取って、利用者さんの苦情解決に取り組まれていると思います。」とのご意見をいただきました。

また、地域連携推進員の皆様から以下のご意見をいただきました。
「建て替えられてから時間が経っていますが、施設全体が清潔で明るい雰囲気でも素晴らしいと思います。そのお陰か、入所されている利用者様、働いている職員さんがとても明るく活動されていました。」とのご意見がありました。

その他として、各地域連携推進員より特にご意見等がありませんでしたので、精明学園入所支援課課長 赤羽 秀樹 より閉会の言葉があり、閉会いたしました。

7 写真

